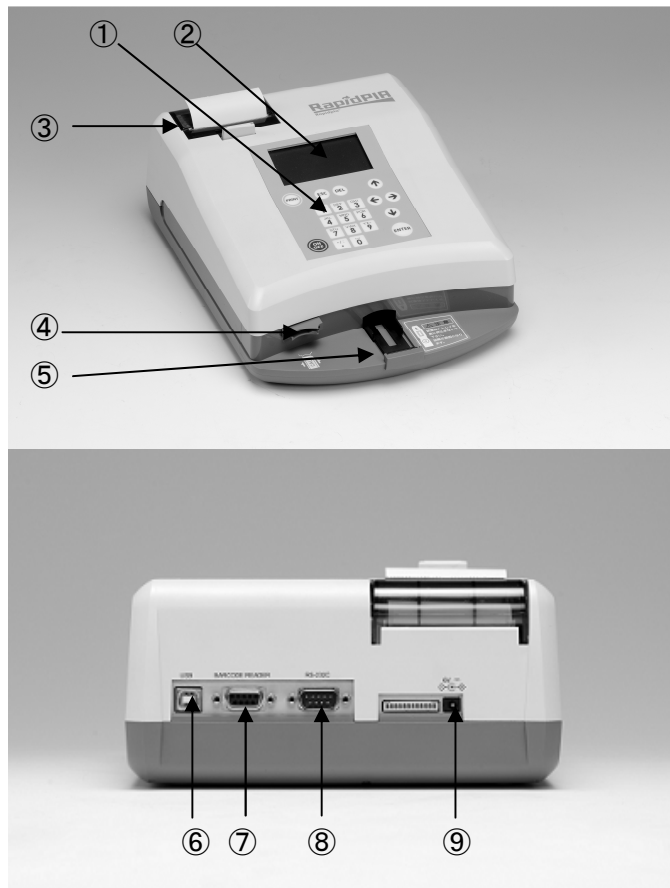


機械器具17 血液検査用器具
 一般医療機器 特定保守管理医療機器 一般的名称 : 蛋白質分析装置 (JMDNコード:30857000)

ラビッドピア®

【形状、構造及び原理等】

<外觀図>



- ① 操作部
- ② 表示部
- ③ プリンタ
- ④ CAL カード挿入口
- ⑤ 試薬挿入口
- ⑥ USB 通信ケーブル接続ソケット
- ⑦ バーコードリーダ接続ソケット
- ⑧ RS-232C 通信ケーブル接続ソケット
- ⑨ AC アダプタ接続ソケット

なお、詳細については、取扱説明書の『各部の名称』の項を参照してください。

1、付属品

- 専用ACアダプタ
- QCデバイス
- プリンタロール紙
- 取扱説明書
- 添付文書(本書)
- クイックガイド
- 保証書

別売品

- 外部バーコードリーダ
- USB 通信ケーブル
- RS-232C 通信ケーブル

2、本体の寸法及び質量

- 外形寸法 : 幅 205 mm 奥行き 275 mm 高さ 96 mm
- 質量 : 約 1400 g

3、電気的定格

本体

- 電源電圧 : DC 6 V
- 消費電流 : 1.2 A 以下(プリンタ使用時の最大値)

専用 AC アダプタ

- 電源電圧 : AC 100 V ~ 240 V (50 Hz 又は 60 Hz)
- 消費電流 : 1.67 A 以下

4、動作原理

本装置は、試薬表面上の反射光強度を連続的に測定します。その測定結果を演算することで、試薬の測定対象の濃度値を算出します。

【使用目的、効能又は効果】

免疫反応によって生じる特異的蛋白質を同定するために用いる自動化又は半自動化された専用装置をいう。ラテックス免疫反応を用いるものを含む。

【品目仕様等】

- 光源 : LED
- 受光素子 : フォトダイオード
- 測定保証範囲 : 5 mABS ~ 800 mABS
- 測定値再現性 : 3 % 以下(CV 値)
- 試薬サイズ : 89 mm × 20 mm × 5.5 mm
- 測定範囲 : 20 mm × 3 mm
- 検出ライン数 : 2 本
- ライン間隔 : 1.0 ± 0.2 mm
- 表示部 : LCD
- 操作部 : メンブレンスイッチ
- 内部バーコード : NW-7
- 測定時間 : 30 秒以内
- インターフェース : USB、RS-232C

【操作方法又は使用方法等】

1、設置条件

- ① 平坦な傾きの無い場所に設置すること
- ② 水を扱わない場所に設置をすること
- ③ 強磁界、強電界の環境下に設置しないこと
- ④ 油煙、ほこり、腐食ガスが発生する場所に設置しないこと

2、使用環境条件



- ① 周囲温度 : 15 °C ~ 30 °C
- ② 相対湿度 : 70 % 以下 (結露しないこと)

取扱説明書を必ずご参照ください

3、使用方法

設定の方法により操作が異なるので、使用方法の詳細は取扱説明書の『基本操作』および『その他の機能や設定方法』の項を参照してください。

機器の正常動作をチェックするためにQCデバイスが付属されています。電源投入時には必ず行ってください。QCデバイスでのチェック方法は取扱説明書の『精度管理』の項を参照してください。初めて試薬を測定する場合、または新しいロットの試薬を測定する場合は、試薬ロット情報の登録を行ってください。

- ① 機器の動作が可能な状態であることを確認してください。
- ② 電源を入れてください。
- ③ 自動的に装置のセルフチェックが行われます。
- ④ メインメニュー画面で操作部   キーにより表示部ケンサの位置にカーソルを移動し **ENTER** キーを押します。
- ⑤ 検査項目を選択し **ENTER** キーを押します。必要に応じ操作部のキー又はバーコードよりオペレータID、検体選択、患者IDを入力します。
- ⑥ 試薬を試薬挿入口にセットします。
- ⑦ 所定の方法で検体を滴下し操作部の **ENTER** キーを押します。
- ⑧ 試薬のバーコードを読み取り試薬のチェックを行います。
- ⑨ 測定までの時間が表示されカウントダウンが始まります。
- ⑩ 測定時間になると測定します。
- ⑪ 測定結果より演算し検査結果を表示します。
- ⑫ 印刷する場合には **PRINT** キーを押すと印刷されます。
- ⑬ 測定が終わった試薬を試薬挿入口から取りはずします。
- ⑭ 検体が付着した場合には試薬挿入口をきれいに清掃します。
- ⑮ 電源を切ります。

【使用上の注意】

- 1、 機器を使用するときは、本書及び取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
- 2、 直接検体に触れないでください。
- 3、 機器の使用前には、次の事項に注意してください。
 - ① 機器が平坦で傾きの無いところに設置されていることを確認してください。
 - ② 機器の外観などの損傷や試薬挿入部に異物や汚れが無いことを確認してください。
 - ③ 機器が安全かつ正確に動作することを確認してください。
 - ④ QCデバイスを使用する場合には測定部分にほこりや異物が付着していないことを確認してください。
 - ⑤ 機器の近くには熱を発する物は置かないでください。温度に関するエラーの原因となります。
 - ⑥ 機器の使用時は出来るだけ試薬挿入口を窓の方向へ向けしないでください。
- 4、 機器の使用中には、次の事項に注意してください。
 - ① 試薬キットを機器にセットする際は試薬キットを強く奥に押し込まないでください。
 - ② 測定に入る前に試薬キットが正常にセットされていることを確認してください。
 - ③ 機器周辺で電波を発生する恐れのある通信機器などを使用しないでください。
 - ④ 窓際などの直射日光が当たる場所や外乱光の影響を受けやすい場所で使用しないでください。
 - ⑤ 使用中は、機器を移動したり傾けたりしないでください。
- 5、 機器の使用後には、次の事項に注意してください。
 - ① 保管場所については、設置場所と同様に注意をしてください。
 - ② 機器は次回の測定に支障がないように清掃しておくようにしてください。
- 6、 故障した場合は速やかに操作を中止し、適切な表示を行い、販売元に連絡してください。
- 7、 機器は改造しないでください。
- 8、 機器に強いショックを与えたり、落としたりしないでください。
- 9、 機器を水でぬらさないでください。

- 10、 お手入れの際は、電源を切り専用ACアダプタケーブルを取り外してください。
- 11、 長時間使用しないときは、専用 AC アダプタを本体及び固定主電源コンセントからはずしてください。
- 12、 試薬挿入口にほこりや異物が入らないようにしてください。
- 13、 本製品を廃棄する場合には廃棄物処理法により適切に処理してください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1、 貯蔵・保管方法

機器は次の環境の範囲で貯蔵・保管してください。

- 周囲温度 : -10 °C ~ +45 °C
- 相対湿度 : 70 % 以下 (結露しないこと)

2、 本機器の有効使用期間(耐用年数)

使用開始(据付)後5年 (自己認証による)

注)取扱説明書『メンテナンス、消耗品の交換、保管方法』に従って本体のお手入れ及び消耗品の交換を定期的に行い、点検結果により修理が必要な場合には販売元へ連絡してください。

【保守・点検に係る事項】

取扱説明書『メンテナンス、消耗品の交換、保管方法』の項に従って、保守・点検を行ってください。

機器の詳細な保守・点検については取扱説明書『精度管理』および『メンテナンス、消耗品の交換、保管方法』の項を参照してください。

【包装】

1台単位

【製造販売業者及び製造業者の名称及び住所】

製造販売元

積水メディカル株式会社
〒103-0027
東京都中央区日本橋三丁目13番5号
電話 : 0120-367-677

製造元

浜松トニクス株式会社
〒438-0193
静岡県磐田市下神増314番地の5
電話 : 0539-62-3151

お問い合わせ先 積水メディカル株式会社コールセンター

〒135-0063

東京都江東区有明三丁目5番7号

TEL:0120-367-677

受付時間:9:00~17:30(土、日、祝祭日を除く)